

稲城市地域教育懇談会

目的

地域教育懇談会は、稲城の子供の心身共に健全な成長を期するという理念に基づき、家庭、学校、幼稚園、保育園、認定こども園や地域の各団体・関係者が連携して健全育成のための情報共有や活動を行うことにより、地域社会に根ざした教育力の充実を図ることを目的として37年間に渡り実施されています。

活動

6つの中学校ブロックにおいて、それぞれ1年間の活動テーマを設定し、定例会の中で情報を共有して話し合ったり、地域協働の活動に取り組んだりしています。また、各ブロックの代表が集まり、地域教育懇談会の情報共有を図る場として、ブロック連絡会を実施するとともに全体会を年1回開催しています。

主題

令和3年度の地域教育懇談会の主題は「稲城の子供に生きぬく力をどう育てるか—家庭、園、学校、地域の役割と関わり—」としています。

五中ブロック

令和3年度のブロックの活動

構成団体名

向陽台・百村・長峰地区青少年育成委員会、主任児童委員、民生・児童委員、保護司、社会教育委員、更生保護女性会、女性防犯百村支部、防犯協会、長峰駐在所、向陽台駐在所、稲城市子ども家庭支援センター、学校支援コンシェルジュ、いちょう会、ひまわりの会、クローバーの会、城山の会、城山児童館、向陽台保育園、城山保育園、もみの木保育園 長峰、こまざわ幼稚園、稲城市立稲城第五中学校、稲城市立向陽台小学校、稲城市立長峰小学校、稲城市立城山小学校

○ブロックのテーマ

「地域をふるさととする子供の育成」～あいさつ運動・防災教育の視点から～

○ブロック全体の活動経過

第1回地域教育懇談会 6月29日（火）＜城山小学校：体育館＞

- ・運営委員会組織、参加団体、参加者の紹介
- ・ブロックの活動のテーマ、年間計画について協議

第2回地域教育懇談会 10月12日（火）＜城山小学校：体育館＞

- ・講演会『防災教育で子供たちに期待すること』
稲城市消防本部防災課長：川 啓 啓 介 様
- ・全体発表会に向けて協議

第3回地域教育懇談会 2月22日（火）＜城山小学校：体育館＞

- ・防災教育の実際について各団体からの報告
- ・次年度に向けての計画について協議



(あいさつ運動)



(消火器訓練)



(講演会)

令和3年度の発表テーマ 発表団体【 城山児童館 】

○地域の中で次世代に繋げる「循環型の子育て支援」への取り組み —子育て支援拠点施設である「城山児童館」の実践—

○取組名：農業体験「しろやまフィールド隊」

○事業の概要：本児童館の子育て支援事業は、「施設の職員が支援をする、親が支援される」といった一方向的な現在の支援に加え、今後の子育て層(現在の小学生・中学生・高校生・大学生)との世代間交流を加えた「循環型支援」に枠組みを広げ、展開していきたいと考えている。

本事業は子育て支援施設である児童館の重要な支援策として、更なる子育て支援の体制づくりの一環として、「いなぎグリーンウェルネス財団」の協力のもと実施した。

○事業の詳細：児童館の畑に参加者が自ら選んだハーブを植え、その後、各自が来館の度に水やりや草取りを行いながら、その成長を観察する。そして、成長したハーブを利用し制作活動を行う。さらに、この過程で「世代間交流」を図り、関係構築に繋がった。



令和3年度の発表テーマ 発表団体【 城山児童館 】

○地域の中で次世代に繋げる「循環型の子育て支援」への取り組み —子育て支援拠点施設である「城山児童館」の実践—

○事業の成果：地域子育て拠点である児童館に集う乳幼児親子や児童達は、同じ地域で生活し成長していく環境にある。この「世代間交流」を通して双方間の関係を密にし、友好的な関係を築き社会・地域の連帯感を感じることは、次世代の子育て支援に繋がるよい機会であった。

○参加者：乳幼児親子38名・児童22名、延べ60名(全3回)

○取組期間：令和3年6月12日(土)～10月2日(土)

○活動の取組と経過

第1回：6月12日(土)苗植え＜城山児童館畑＞

- ・ 苗植え
- ・ 乳幼児親子と児童との交流

第2回：9月11日(土)収穫と制作＜城山児童館畑・プレイルーム＞

- ・ 収穫と制作(スワッグorアレンジメント)
- ・ 乳幼児親子と児童との交流

第3回：10月2日(土)収穫と制作＜城山児童館畑・プレイルーム＞

- ・ 収穫と制作(アロマワックスサシェ)
- ・ 乳幼児親子と児童との交流

